

グリーティング

秋が深まってくると風邪をひいているわけでもないのに、鼻水やくしゃみがでて困ることがあります。朝・昼・晩の温度差が7℃以上になると起こりやすい「寒暖差アレルギー」と呼ばれる症状です。自律神経のバランスが崩れると起こり、特に女性に多いそうです。

寒暖差に対応するには体を冷やさないこと、四肢末端を冷やさず血行を良くすることが大切です。特に首を暖めると自律神経の安定に効果があります。首をゆっくり上下に動かしたり、首の後ろを温めたり、スカーフやマフラーを巻いたり…。もちろん睡眠や食事は生活の基本ですから気をつけましょう。体のコンディションを整えながら、素晴らしい秋を楽しみながら、寒さを迎えたいと思います。

S. K



技工情報

◎模型について（寒天アルジネートと石膏について）

○模型材料としての石膏とは。

石膏は、水と混和する為に、混水比により物性が影響されてきます。

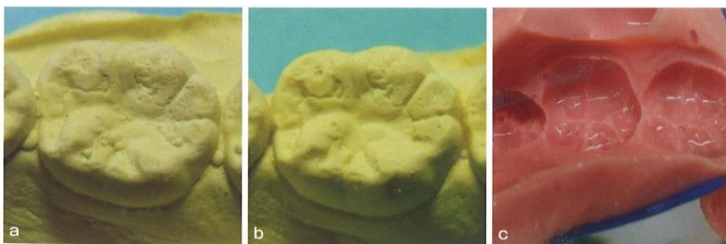
特に多用されていると思われる、寒天アルジネート印象の場合には、影響が大きくなる傾向があります。

印象材表面の水分除去と模型材（石膏）の適切な混水比は必須条件になります。

<参考例として>

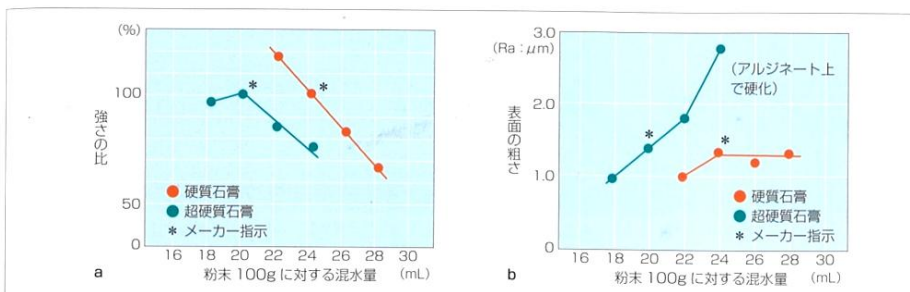
印象の種類	大きさ	石膏量	練和液量
クラウン・ブリッジ	全顎上：下 1：1	100g	超硬：20ml(g)／硬：23ml(g)
	片側上：下 1：1	50g	超硬：10ml(g)／硬：11.5ml(g)
義歯／スタディモデル	全顎上：下 1：1	200g	超硬：40ml(g)／硬：46ml(g)

※超硬石膏：ニューフジロック
硬石膏：ニュープラストーン
(共にジーシー)



アルジネート印象材の表面水分を多くした状態 (c) で注いだ模型(a)
表面水分を除去し、注いだ模型 (b)

・これを表化すると



a : 混水比が増す程、石膏は弱く脆くなります。
b : 混水比が増す程、表面が粗くなる傾向にあります。